

# 大学と教育委員会の協働による将来の「オール三重」体制に向けた安定的な教員確保のための「三重教育モデル」の構築

## ○現在実施している地域教員枠入試と対象学生への教員養成プログラム

<p><b>地域課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・へき地・複式教育学級の増加</li> <li>・地域活性化</li> </ul> <p>対応できる教員の養成 三重県南部地域推薦入試(H29年度～)</p>	<p>地域で育て地域に戻すサイクルの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県南部地域の初等教育(1年次)</li> <li>・三重県南部地域の現代的課題(2年次)</li> <li>・県南部地域における教育実習(3年次)</li> <li>・教採合格後、出身地に教員として着任(県教委)</li> </ul>	<p>令和5年3月時点で卒業生の約80%が南部地域で教員として就職</p> <p><b>R5年度 文科省好事例に選定</b></p>
---	--	--

地域枠の有効性を確認 → 県内全域へ拡張

R4年度～ 三重県全域推薦入試を実施 → 学年進行しても教員就職への意識が高い状況を維持

## ○地域教員枠入試を統合した教員養成プログラムの発展的展開

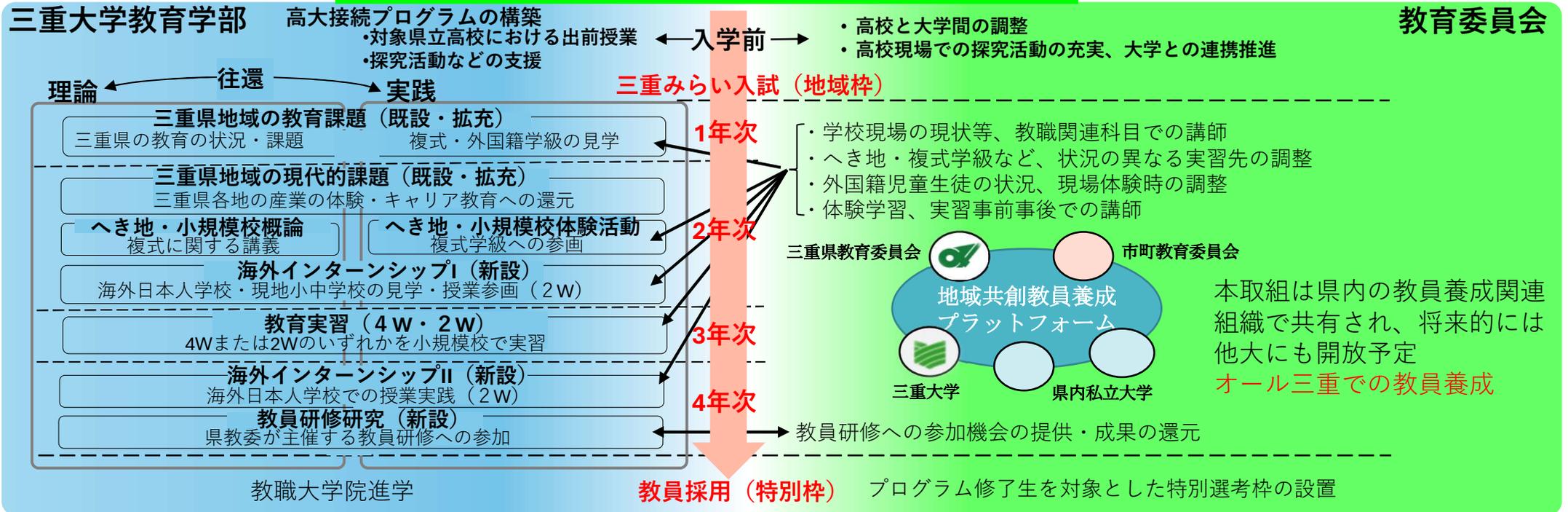
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題を解決できる<b>新たな教員養成プログラム</b></li> <li>・高大接続による教員になる意識の高い学生の確保</li> </ul>	<p><b>地域課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員不足の顕在化(少数教科、特別支援教育)</li> <li>・へき地・複式教育学級の増加</li> <li>・外国につながる児童生徒の増加</li> </ul>
---	--

**県教委との連携の深化**

- ・小規模校エキスパート
- ・日本語教育エキスパート
- ・少数教科エキスパート

**地域課題を意識した専門性の習得・実践力の強化**

## 県教委との連携の深化させた教員養成プログラムの完成イメージ



- 理論 ← 往還 → 実践**
- 三重県地域の教育課題 (既設・拡充)**
    - 三重県の教育の状況・課題
    - 複式・外国籍学級の見学
  - 三重県地域の現代的課題 (既設・拡充)**
    - 三重県各地の産業の体験・キャリア教育への還元
  - へき地・小規模校概論** (複式に関する講義)
  - へき地・小規模校体験活動** (複式学級への参画)
  - 海外インターンシップI (新設)**
    - 海外日本人学校・現地小中学校の見学・授業参画 (2W)
  - 教育実習 (4W・2W)**
    - 4Wまたは2Wのいずれかを小規模校で実習
  - 海外インターンシップII (新設)**
    - 海外日本人学校での授業実践 (2W)
  - 教員研修研究 (新設)**
    - 県教委が主催する教員研修への参加